

## B 1 授業研究モジュール (CEC21ワークショップ)

(1) モジュール名	B 1 授業研究モジュール
(2) タイプ	[ ] A : 理論解説 [●] B : 課題解決 [ ] C : 参加体験
(3) 主な能力	( ) 対話 ( ) 交流 (●) 討論 (●) 説得・納得
(4) 準備物	指導案 (実際の研究授業で用いたもの) コミュニケーション力指導の手引 (関連ページ copy) 付箋紙 (2種類)、模造紙、マジック

### (5) 流れ [60分]

時	主な活動内容	具体的内容・備考
5分	①授業内容の説明	・ 授業者等が、研究授業の概要や意図を簡単に説明する。
10分	②アイスブレイク グループづくり	・ グルーピングは重要。校内の職員のみは省略。同一学年、異学年を考慮。 ・ グループファシリテータ (GF) をあらかじめ決めておく。
15分	③意見の分類、整理 研究授業の工夫点と改善点を付箋紙に書き出す。	・ GF 役が進行しながら、参加者から授業の工夫点 (赤色) と改善点 (青色) について付箋紙を出させる。 ・ 内容を吟味しながら、いくつかのまとまりに整理する。「指導の手引」のポイントと関連づけながら、まとめていく。
15分	④提案内容の検討 今後の対策をまとめる。	・ 「討論」、「説得・納得」に高めるための、今後の対策を具体的に提案する。
10分	⑤各グループの発表	・ GF 役が、1～2分程度で、わかりやすく要点を話す。 ・ ファシリテータが、発表グループのポイントを価値づける。
5分	⑥全体での意見まとめ	・ ファシリテータが、授業研究会全体の方向性をまとめる。 ・ 研究授業の成果をまとめ、次への課題を明らかにする。

### (6) 指導の手引での関連する内容

P. 132-133 教科名 (国語) 学年 (5年)

[作成者：山本 朋弘]